

新形式

通訳案内士試験二次口述対策

モデル・プレゼンテーション集

過去問編Ⅳ

H27年度 時間帯5 & 6

*I would like to talk
about ninjas.
Ninjas conducted
espionage, assassination,
and other activities
during feudal times.
They learned special
combat and survival
techniques.....*



CD付

*Tell me about Japan
In Two Minutes*

*As behind some important
historical events was the secret
service of ninjas. I hope this
helps you appreciate them.
Thank you.*



PEP 英語学校 校長

杉森 元 著

Hajime Sugimori

簡明にして深淵—日本事象の魅力を体現する英語
テキストの最高峰！世界に向けて日本を語ろう

 **PEP英語学校**
We are full of PEP!

通訳案内士試験二次口述対策

モデル・プレゼンテーション集

過去問編Ⅳ

H27年度 時間帯5&6

Tell me about Japan

In Two Minutes



PEP 英語学校 校長

杉森 元 著

Hajime Sugimori

まえがき

通訳案内士試験二次口述は、平成 25 年度よりその形式と内容が一新された。具体的には、①日英逐次通訳、②プレゼンテーション & 質疑応答、の 2 つの課題が、約 10 分で行われるようになった。

本書で扱うのは②である。この課題は、与えられたトピックについて受験者が 2 分間のプレゼンテーションを英語で行い、その後に試験官の質問に答える、というものである。ここで最大の難関は即興プレゼンをいかにスムーズに行えるか、ということである。

即興は難しく、受験者にとっては恐怖であるから、準備の方法が問題となる。しかし「即興の準備」というのはそもそも言語的に矛盾しており、いったい何をどうすればいいのかがわかりにくく、途方に暮れる方も多い。

そのような受験者のために「とりあえずモデルをいくつか暗唱し、本試験で求められる内容と分量を体感することから始めてみては」とお勧めすることにして、私は本書を書いた。丸暗記学習に対する批判があることは承知している。私も丸暗記「だけ」に頼るのは反対である。しかし、アウトプットのためにはインプットが必要であり、暗唱には一定の合理性もある。

本書掲載のモデルは、①即興性、②2 分間分の分量、③外国人観光客に有益と思われる情報提供、という条件を満たし、本試験の傾向にピッタリと照準を合わせたものばかりである。通訳案内士試験突破を目指される方が本書を活用され、みごと最終合格の栄冠を勝ち取られることを期待する。

過去問編の発刊について

既刊の『モデル・プレゼンテーション集 VOL.1～』においては、新形式試験ガイドラインと過去問から探った厳選予想問題につき「実戦的かつ本格的かつ楽しい」というコンセプトに基づいてモデル・プレゼンテーションを展開し、幸い好評を得ることができた。本書「過去問編」はその姉妹シリーズである。

本試験が新形式に移行し、その出題を見ると、いわゆるガイド試験「定番トピック」が何度も繰り返して問われていることがはっきりとわかる。たとえば、「明治維新」「温泉」「新幹線」「浮世絵」「正月」などである。これは「定番トピックについては何度でも出題する」という出題者の明確なメッセージであろう。

そうだとすれば、こうしたお題については万全の準備が要求される。過去問は、将来の出題を予測する上で、最も信用性の高い情報であり、全受験者が共有する「常識」である。これを押さえずに試験に臨むのは、自ら望んで最初からハンディキャップを背負いこむに等しく、無謀というしかない。受験者が合格を望むのならば、過去問の研究は絶対に必要である。

本シリーズは、新課題「即興プレゼンテーション」の全過去問及びサンプル問題につき、別書『過去問詳解』等に掲載した解答例を「モデルプレゼン方式」でまとめ、独自の解説と音声CDを付したものである。楽しく実戦的な内容は、合格後まで役立つものと自負している。本シリーズが、読者諸兄の自己実現の一助になれば著者としてこれに勝る喜びはない。

本書の使い方

プレゼンテーションの方針

本書に掲載したモデル・プレゼンテーションは、以下のような方針によって構成されている。

- (1) プレゼンテーション課題は「通訳案内士」の「案内」(ガイド)の部分の能力審査である、という考えに基づき、外国人観光客にとって「有益と思われる情報提供」のシミュレーションとしての姿勢を貫くこと。
- (2) 本試験で課される2分間という時間要件に適合する分量にまとめること。具体的には各モデルあたり 200 words 程度にすること。
- (3) 本試験では、即興で行うものであることから、難しい単語や構文はできるだけ使わないこと。
- (4) それでも内容的にはできるだけ興味深く、一般の人の知的好奇心を満足させ、試験合格後も役立つものであること。

暗唱の方法

学習者の方は、このようなことを意識した上で、とりあえず本書のモデル・プレゼンテーションを気に入ったものから暗唱されるとよい。暗唱のコツは、①音声を重視すること、②日常のスキマ時間をうまく使って勉強すること、③話の内容や構造に注意を払うこと、である。

- ①音声を重視するというのは、耳と口を使う、ということである。

付属の CD を用いて正しい発音、アクセント、抑揚をインプットし、それを自分の口でアウトプットしてみることである。最初はテキストを見ながら朗読し、徐々にそらで言えるようにするとよい。

②暗唱練習は、通勤電車の中などの「スキマ時間」を使うのが効率的である。CD 音声を携帯プレーヤーなどに録音しておけば、日常のちょっと空いた時間をすぐに勉強時間に充てることができる。

③最初は音声を単純にコピーするというやり方でよいが、徐々に話の内容や構造に意識を移すべきである。内容や構造を意識することは、記憶の鍵になる。また、本番ではあらかじめ暗記した内容が必ずしもそのまま出題されるわけではないので、応用力をつけるために、内容や構造を意識すべきである。

分析的に読む

暗唱以外に、各モデル・プレゼンテーションをじっくり分析的に読んでみるのもよい。そこからは、単なる丸暗記ではなく、より応用の効く事柄が学べるはずである。

まず内容的には、常に「観光」に寄り添う形での情報提供を心がけることである。これはたとえば「伝統的日本家屋」のトピックだったら、「宿泊施設を選ぶ際には、ぜひ旅館を選ぶことにより、日本家屋の居住性を試してみてください」のように「旅館」の話に結び付ける、ということである。あるいは「広島」の説明をした後 “I hope you will add Hiroshima to your itinerary.” と広島への「観光旅行」を呼び掛けることである。これは英語表現としても覚えておくべきである。また、世界遺産や国立公園と関連性があれば、必ずこれに言及することを考える、という発想を持つことである。

次にスピーチの形式を意識する。たとえば本書のモデルでは、全て冒頭は “I would like to talk about...”、締めくくりは “Thank you.” で統一しており、ワンパターンである。これは、スピーチによるコミュニケーションにおいては、非個人的に「型」を守る部分と、個人的に創造性を発揮する部分との間にメリハリをつけるのがよい、という考えに基づいている。どの箇所が「型」に該当するかを考えるのである。

この点、各モデル・プレゼンテーションの内容と構造について、それぞれ和訳の後に “CONTENT & STRUCTURE” という形でまとめてある。ここでは、情報の選択とその叙述のしかたに加えて、導入、本体、結論、というスピーチで守られるべき「型」を分析してある。このようにモデルを抽象化することにより、異なったトピックが出題された際の応用力が涵養できるように配慮している。

なお、通訳案内士試験二次口述で行われる実際の面接の様子については『新形式通訳案内士試験二次口述面接の再現動画』を閲覧されたい。YouTube の WEB ページより、「PEPEnglishSchool」で検索すれば見ることができる。なお、当チャンネルでは他多数の有用コンテンツを発信しているので、視聴の際にはぜひチャンネル登録をお願いします。また直近の投稿動画については、PEP 英語学校 HP (<http://www.pep-eigo.com>) からも見ることができる。

以上

目次

TOPIC 1 東海道五十三次	1
MODEL PRESENTATION 1	2
和訳	3
CONTENT & STRUCTURE	4
TOPIC 2 殺陣	5
MODEL PRESENTATION 2	6
和訳	7
CONTENT & STRUCTURE	8
TOPIC 3 高山祭	9
MODEL PRESENTATION 3	10
和訳	11
CONTENT & STRUCTURE	12
TOPIC 4 日本の蒸気機関車	13
MODEL PRESENTATION 4	14
和訳	15
CONTENT & STRUCTURE	16
TOPIC 5 神楽	17
MODEL PRESENTATION 5	18
和訳	19

CONTENT & STRUCTURE	20
TOPIC 6 忍者	21
MODEL PRESENTATION 6	22
和訳	23
CONTENT & STRUCTURE	24
TOPIC 7 路面電車	25
MODEL PRESENTATION 7	26
和訳	27
CONTENT & STRUCTURE	28
TOPIC 8 日本のミュージカル	29
MODEL PRESENTATION 8	30
和訳	31
CONTENT & STRUCTURE	32
TOPIC 9 卑弥呼	33
MODEL PRESENTATION 9	34
和訳	35
CONTENT & STRUCTURE	36
TOPIC 10 中山道	37
MODEL PRESENTATION 10	38
和訳	39
CONTENT & STRUCTURE	40

TOPIC 11	金閣寺の建築様式	41
	MODEL PRESENTATION 11	42
	和訳	43
	CONTENT & STRUCTURE	44
TOPIC 12	日本のアイドル	45
	MODEL PRESENTATION 12	46
	和訳	47
	CONTENT & STRUCTURE	48
TOPIC 13	日本のハロウィン	49
	MODEL PRESENTATION 13	50
	和訳	51
	CONTENT & STRUCTURE	52
TOPIC 14	風鈴	53
	MODEL PRESENTATION 14	54
	和訳	55
	CONTENT & STRUCTURE	56
TOPIC 15	血液型	57
	MODEL PRESENTATION 15	58
	和訳	59
	CONTENT & STRUCTURE	60
TOPIC 16	出雲大社	61

MODEL PRESENTATION 16.....	62
和訳	63
CONTENT & STRUCTURE	64
TOPIC 17 源氏物語.....	65
MODEL PRESENTATION 17.....	66
和訳	67
CONTENT & STRUCTURE	68
TOPIC 18 懐石料理.....	69
MODEL PRESENTATION 18.....	70
和訳	71
CONTENT & STRUCTURE	72
TOPIC 19 精進料理.....	73
MODEL PRESENTATION 19.....	74
和訳	75
CONTENT & STRUCTURE	76
TOPIC 20 打ち水.....	77
MODEL PRESENTATION 20.....	78
和訳	79
CONTENT & STRUCTURE	80
TOPIC 21 棚田.....	81
MODEL PRESENTATION 21.....	82

和訳	83
CONTENT & STRUCTURE	84
TOPIC 22 デパ地下.....	85
MODEL PRESENTATION 22.....	86
和訳	87
CONTENT & STRUCTURE	88
TOPIC 23 お彼岸.....	89
MODEL PRESENTATION 23.....	90
和訳	91
CONTENT & STRUCTURE	92
TOPIC 24 優先席.....	93
MODEL PRESENTATION 24.....	94
和訳	95
CONTENT & STRUCTURE	96
TOPIC 25 日本のお土産にお勧めのもの.....	97
MODEL PRESENTATION 25.....	98
和訳	99
CONTENT & STRUCTURE	100
TOPIC 26 横綱.....	101
MODEL PRESENTATION 26.....	102
和訳	103

CONTENT & STRUCTURE	104
TOPIC 27 お通し	105
MODEL PRESENTATION 27	106
和訳	107
CONTENT & STRUCTURE	108
TOPIC 28 おでん	109
MODEL PRESENTATION 28	110
和訳	111
CONTENT & STRUCTURE	112
TOPIC 29 なまはげ	113
MODEL PRESENTATION 29	114
和訳	115
CONTENT & STRUCTURE	116
TOPIC 30 日本人のくせ	117
MODEL PRESENTATION 30	118
和訳	119
CONTENT & STRUCTURE	120
二次口述過去問出題一覧表	122

TOPIC 1

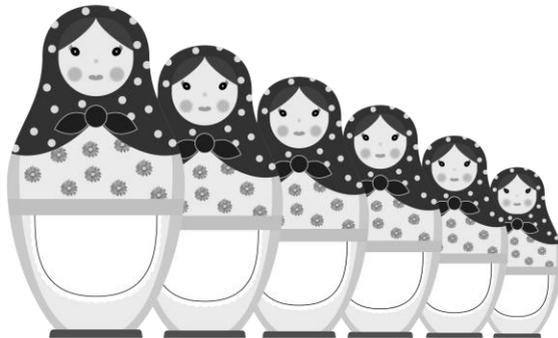
東海道五十三次

Tokaido Gojusan-tsugi

平成 27 年度

時間帯 5

問題セット 1-①



MODEL PRESENTATION 1

I would like to talk about *Tokaido Gojusan-tsugi*.

Tokaido was a major feudal-age highway on Japan's Pacific coast that connected present-day Tokyo and Kyoto. *Gojusan-tsugi* means "fifty-three post stations."

Tokaido Gojusan-tsugi was developed in the early 17th century by Tokugawa Shogunate founder, Tokugawa Ieyasu. Couriers, horse messengers, travelers, and lords used *Tokaido Gojusan-tsugi*. With various scenic spots such as Mt. Fuji, a World Heritage site today, it was a favorite of ukiyo-e artists, including Utagawa Hiroshige, the most popular.

Some people today are interested in visiting *Tokaido Gojusan-tsugi* the old way; walking the entire Tokaido, which takes about two weeks compared to the Tokaido Shinkansen, which takes two and a half hours.

If your time is limited, go ahead and use modern transportation to visit some of the former stations. I recommend Hakone, which is about an hour or two from Tokyo by train. Part of Fuji-Hakone-Izu National Park, it has many scenic spots related to Mt. Fuji, hot springs, and great seafood. It is known for its local woodcrafts, including *ireko ningyo*, which is said to be the origin of the popular Russian Matryoshka dolls. I hope you visit *Tokaido Gojusan-tsugi* to appreciate feudal-age travel in Japan. Thank you. (200 words)

和訳

私は、東海道五十三次についてお話いたします。

東海道とは、日本の太平洋側に沿って現在の東京と京都を結んでいた、封建時代の大街道のことです。五十三次とは「53の宿場町」という意味です。

東海道五十三次は、17世紀初頭に徳川幕府の創立者である徳川家康によって整備されました。飛脚、伝馬、旅行者、そして諸侯がこの東海道五十三次を利用していました。今日、世界遺産となっている富士山をはじめ、様々な景勝地があったことから、東海道五十三次は多くの浮世絵作家の題材として好まれ、中でも歌川広重の作品は最も人気がありました。

今でも、この東海道五十三次を、好んで昔と同じ方法で訪れる人がいます。すなわち、東海道新幹線を使えば2時間半ほどしかかからない全道程を、徒歩で2週間ほどもかけて旅するというものです。

そこまでのお時間はないとのことでしたら、どうぞ遠慮なく現代の交通手段を用いて、昔の宿場町をいくつか訪れてみてください。私のお勧めは箱根です。箱根は東京から電車で1、2時間ほどの距離にあります。ここは富士箱根伊豆国立公園の一部であり、富士山関連の景勝地、温泉、そして美味しいシーフードが楽しめます。また地元の様々な木細工が有名で、その中でも入れ子人形は、ロシアのお土産として知られるマトリョーシカ人形の起源だといわれています。ぜひ東海道五十三次を訪れ、封建時代の日本の旅行はどんなものであったか、に思いを馳せていただければと思います。どうもご清聴ありがとうございました。

CONTENT & STRUCTURE



導入(Introduction)

まず、“I would like to talk about...”と冒頭で選択トピック告知をする。本トピックは、昨年が続いて全く同じ出題（時間帯⑥）であり、それだけ重要なトピックなのであろう。別解が拙書『モデル・プレゼンテーション集 過去問編 I』にある。今後も出題可能性が高いので、ぜひ併せて参照の上、研究いただきたい。

本体(Body)

お題のメインを「街道」の話に据えるか、あるいは「浮世絵」にするか、については受験者が自由に選べばよいであろう。ただ、どちらを採るとしても、もう片方に対する一応の言及は必要である。

結論(Conclusion)

最後は、具体的観光地の紹介と、観光アトラクション、観光情報の提供とした。結辞は簡単に“Thank you.”とする。

TOPIC 2

殺陣

Taté

平成 27 年度
時間帯 5
問題セット 1-②



MODEL PRESENTATION 2

I would like to talk about *taté*.

Taté is Japanese stage combat. It refers to theatrical techniques used to create realistic fight scenes without causing harm to performers. It usually involves various martial arts, including swordsmanship, judo, karate, and so on.

Taté originates in fighting scenes in kabuki, drama featuring exaggerated movements, gorgeous costumes and sound effects. It later developed into a little more realistic fighting, *taté*, in samurai dramas.

In the typical *taté* scene, the hero swings his sword to beautifully defeat the antagonists at the climax. For the hero to look impressive, the antagonists' *taté* skills are important. Some even say that amateurs can play the hero, while it takes professionals to be slain properly. There are specialized choreographers called *taté-shi*, who supervise the action and choice of weapons. Many know not only acting but some martial arts.

Intrigued by samurai dramas, many people are interested in learning *taté* as a hobby these days. Fortunately, some *taté* schools offer amateur courses, and visitors from abroad are of course welcome. The course teaches how to wear a samurai costume, how to act and handle a Japanese sword. I hope you try *taté* to enjoy being a samurai. Thank you. (200 words)

和訳

私は、殺陣についてお話しいたします。

殺陣とは、日本における劇中の格闘のことです。すなわち、演技者たちに怪我をさせずに迫力ある格闘シーンを作るための演劇技術を指します。ここには大抵、剣術、柔道、空手などの様々な格闘技が用いられています。

殺陣とは、もともと歌舞伎、すなわち大げさな所作、豪華な衣装、効果音などを特徴とする演劇における立ち回りに起源があります。これが後に、もう少し本物の格闘に近い形の格闘シーン、すなわち時代劇における殺陣に発展したのです。

典型的な殺陣の場面においては、主人公が見せ場で刀を振るい、見事に敵役を討ち取ります。主人公をカッコよく見せるためには、敵役の殺陣技術が重要です。一説によると、主人公の役は素人でもできるが、上手く斬られる技術は玄人だけのものだそうです。また殺陣師と呼ばれる専門の振付師が存在し、アクションと武器の選択を担当しています。多くの殺陣師は演技だけではなく、格闘技の心得もあります。

時代劇に影響されて、近年、殺陣を趣味で習いたい、という人も増えてきました。幸い、殺陣の学校の中にはアマチュア用のコースを設けているところがあり、外国からの観光客ももちろん、これを受講することができます。ここでは、侍の衣装の着方、演技の仕方、日本刀の扱い方、などを習うことができます。ぜひ、殺陣に挑戦して、侍になりきってみてください。どうもご清聴ありがとうございました。

CONTENT & STRUCTURE



導入(Introduction)

まず、冒頭で“I would like to talk about...”と選択トピック告知をする。次に定義を述べる。本トピックは、外国人観光客の間で「殺陣体験」が人気であるという事実を踏まえた出題であるので、一般説明の後は、必ず観光アトラクションとしての殺陣に触れるべく、プレゼンの構成を考えるべきである。

本体(Body)

日本にいれば、時代劇のクレジットなどで「殺陣」というのを日常的によく見るが、意外と具体的にどのようなものか、という説明は難しいものである。本プレゼンでは「由来」から入る方法を採用した。いずれにせよ、ここは知識が必要となる。

結論(Conclusion)

最後は、観光アトラクションとしての殺陣に触れる。結辞は“Thank you.”とする。

TOPIC 3

高山祭

The Takayama Festival

平成 27 年度

時間帯 5

問題セット 1-③



飛騨高山の朝市（1992/8）

MODEL PRESENTATION 3

I would like to talk about the Takayama Festival.

The Takayama Festival refers to both the spring and autumn festivals held in Takayama, Gifu. It is one of Japan's most beautiful festivals along with the Gion Festival in Kyoto.

The beauty of the festival is the local craftsmanship using the area's rich wood material. Skills in woodworking, metalcraft, lacquering, and textile making, which were used to build the old capitals, Nara and Kyoto, have been used to make the elaborate festival floats for centuries. Due to their similarity in gorgeousness, the floats are nicknamed "the moving *Yomeimon*," the famous gate of Nikko Toshogu, which enshrines the first Tokugawa shogun, Ieyasu. On top of the floats are traditional mechanical dolls representing local artisanship. They make tricky movements along with music.

Among the many attractions, I recommend the night parade at the spring festival. Once it becomes dark, up to 100 paper lanterns are lit on each float, illuminating its unique ornaments. The floats roam through town with cherry blossoms in the background, as the festival coincides with cherry blossom season.

To access Takayama, take the express train from Nagoya. It takes two hours and twenty minutes. Have a nice journey. Thank you. (201 words)

和訳

私は、高山祭についてお話いたします。

高山祭とは、岐阜県の高山で春と秋に行われる祭りの両方を指します。高山祭は、京都の祇園祭とともに、日本で最も美しい祭りの1つに数えられています。

高山祭の美しさは、この地域の豊かな木材を用いて発達した地元の匠の技にあります。木工、金工、漆工、織工などの技は、かつて奈良や京都などの古都の建設に用いられましたが、ここ数世紀の間、大変手の込んだ屋台を作るために役立てられてきました。これらの屋台は、その豪華さが似ていることから「動く陽明門」、すなわちあの徳川幕府初代将軍の家康を祀る日光東照宮の有名な門にちなんだ異名を与えられています。屋台の上には、地元の匠の技を体現するからくり人形が備えられています。これらのからくり人形は、音曲に合わせて、巧みな動きを見せてくれます。

数ある見所の中でも、私のお勧めは春の祭りにおける夜のパレードです。日が落ちると、百もの提灯が山車に灯され、その見事な装飾の数々が光の中に浮かび上がります。ちょうどこの祭りは、桜の時期と重なるので、桜を背景にして山車は街を練り歩きます。

高山へのアクセスは、名古屋から急行に乗れば2時間と20分で着きます。どうぞお気を付けて行ってらっしゃいませ。どうもご清聴ありがとうございました。

CONTENT & STRUCTURE



導入(Introduction)

まず、“I would like to talk about...”と冒頭の選択トピック告知をする。高山祭は、春の山王祭と秋の八幡祭があるから、定義の部分で触れておいた。高山祭は、祇園祭、秩父夜祭と並んで日本三大美祭とされている。

本体(Body)

高山祭は、山車が有名である。そしてその中でも、山車の装飾とからくり人形が特に見所である。これらはいずれも、飛騨の匠の技術によって作り上げられたものであり、飛騨の匠の技術は、飛騨地方が良質な木材の産地であったことがその始まりである。この話をネタの本筋に据えることにより、「美しさ」を説明することにした。そして、具体的なお勧めとして春の高山祭を挙げた。

結論(Conclusion)

最後は、具体的観光情報としてアクセスの話とした。結辞は“Thank you.”で終わる。

～中略～

TOPIC 29

なまはげ

Namahage

平成 27 年度

時間帯 6

問題セット 6-②



MODEL PRESENTATION 29

I would like to talk about Namahage.

Namahage refers to demon-like beings in the folklore of Oga, Tohoku.

The word “Namahage” originally meant “peeling off heat blisters.” Since lazy people who sit around the fire all the time get blisters, Namahage means “removing laziness.” On New Year’s Eve, two or three young locals disguised as Namahage visit village homes. They wear scary ogre masks and rice-straw raincoats, and hold mock knives to peel blisters off with. As they march into the house, they shout “Are there any crybabies here?” or “Are any naughty kids around?” scarring the young children. The head of the house wearing a formal kimono receives the Namahage and offers them some sake and rice cakes. Pleased, the Namahage promise the family good health and harvest during the coming year, and then leave for the next house.

The Namahage visit is interpreted as an education for the young members of the community to behave well and work hard. Indeed, in northern farming villages, people have to cooperate to survive.

In front of Oga Station are huge Namahage statues. They also have the Namahage Museum, which is open throughout the year. I hope you enjoy Namahage. Thank you. (200 words)

和訳

私は、なまはげについてお話しいたします。

なまはげとは、東北は男鹿の民話に出てくる、ある種の鬼のことです。

この「なまはげ」という言葉は、もともと「火膨れをはぎ落す」という意味でした。つまり、普段、火の回りにダラダラ座ってばかりいる怠け者は、皮膚に火膨れができてしまうことから、なまはげとは「怠惰な心をなくす」という意味なのです。大みそかには、地元の若者が2、3人なまはげの格好をして、村の家々を訪問します。彼らは恐ろしい鬼のお面をかぶり、体には蓑をまとい、手には火膨れをはがすための模擬包丁を持っています。そして、家の中に入ると「泣ぐコはいねがー」「悪いコはいねがー」と奇声を発し、その家の小さな子供を怖がらせます。家人は、正装の着物姿でこれを迎え、酒と餅を振る舞います。喜んだなまはげは、その家族に対して新年の健康と豊作を約束すると、退去して次の家へ向かいます。

なまはげの訪問は、その共同体の若いメンバーに対し、身を慎みよく働くように教育する目的である、と解釈されています。たしかに、北の地の農村において、人々が生き抜くためには、お互いに協力していくことが不可欠であることでしょう。

男鹿駅の正面には、巨大ななまはげの像があります。また、なまはげ館という博物館もあり、ここは通年で営業しています。ぜひ、なまはげをお楽しみください。どうもご清聴ありがとうございました。

CONTENT & STRUCTURE



導入(Introduction)

まず、“I would like to talk about...”と冒頭で選択トピックを告知する。次に定義を述べるが、今回のお題「なまはげ」は、この鬼自体の名前でもあり、また民俗行事の名前でもあることに注意しなければならない。とりあえず、導入では前者に従って定義し、行事としてのなまはげについては、本体に任せた。

本体(Body)

最初は、語義の説明から入った。次に、なまはげの一般的描写を行い、行事を説明する。そしてこの行事の意義を簡単にまとめた。

結論(Conclusion)

最後は、観光の具体的情報の提供を行った。プレゼンテーション課題では、主題は「観光客の関心事」である、ということを常に忘れないようにしなければならない。すなわち「では、われわれはどうすればなまはげを見ることができるのか」に対する答を与える、ということである。結辞は簡単に“Thank you.”とする。

TOPIC 30

日本人のくせ

Japanese Habits

平成 27 年度

時間帯 6

問題セット 6-③



MODEL PRESENTATION 30

I would like to talk about Japanese habits.

Habits differ among cultures. One Japanese habit visitors from abroad tend to notice is making noises when drinking and eating.

In many cultures, making such noises is frowned upon, but it is normal here when drinking tea or soup and eating noodles. While some visitors are roughly aware of this today, many of them are not quite correctly informed yet. Let me explain.

Some say noise expresses that the food or drink is being enjoyed and, therefore, not only is it polite to make noise, it is rude not to; but this could be true only in the tea ceremony, where the participants will make noise when finishing their tea. Besides, with many Japanese also unaware of this rule, there should be no major repercussions for failing to make the noise. In ordinary Japanese life, the noise is made unconsciously, and it is not a requirement.

So, visitors from abroad should not have to worry too much about this issue because you could get by not making noise. However, “When in Rome, do as the Romans do.” It might be a good idea to give making proper noise a try. Thank you. (200 words)

和訳

私は、日本人のくせについてお話しいたします。

くせというものは、文化によって異なります。日本人のくせの中で、海外からやってきた方々の目に留まりやすいのが、食べたり飲んだりする際に音を立てることです。

多くの文化においては、こうした音を立てると大抵、周りから顰蹙を買います。しかし日本では、お茶やスープを飲んだり、麺類を食べたりするときに音を立てるのは、極めて普通のことなのです。今日では、この事実について、大まかには知った上で来日される方もおられますが、それでもなお、この件について完全に正しく理解している方は未だ少数派のように見受けられますので、ご説明させていただきます。

一部には、音を立てることにより、その食べ物や飲み物を美味しく味わっていることが表現されるので、音を立てるのが礼儀にかなっているというだけではなく、音を立てないのは逆に無礼にあたる、と説明する向きもあります。しかし、これが本当に該当するのは、せいぜい茶道において、参加者がお茶を吸い切るときに音を立てる場合ぐらいでしょう。しかも、たとえ日本人でもこの作法を知らないことは多いので、かりに音を出さなかったとしても、それが理由で何か後に問題となる、ということはないと思います。普段の生活においては、日本人が音を立てるのは無意識のうちに行われるのであり、音を立てることが義務になっているわけではありません。

こうしたわけですから、海外からいらっしゃった方々は、この件につき特に心配し過ぎる必要はないかと思えます。皆様がかりに音を立てずにいたとしても、特段、何の問題もなく過ごせるわけですから。ただ「郷に入りては郷に従え」とも申します。もしその気になられたら、適切な音を立てることに挑戦してみるのも、また一興かと存じます。どうもご清聴ありがとうございました。

CONTENT & STRUCTURE



導入(Introduction)

まず、“I would like to talk about...”と冒頭で選択トピックを告知する。本トピックは「開かれたトピック」であるので、受験者が自分で話の内容を限定しなければならない。日本人の癖には、他に「お辞儀」「相づち」「マスク」など、多数あるので、各自が得意なものを語ればよい。ちなみに、本プレゼンの「飲食時の音」は、H26年度の通訳課題で出題されており、その内容は拙書『H26 通訳案内士試験二次口述過去問詳解』に掲載されているので、併せて参照されたい。

本体(Body)

飲食物をすする音の問題に関しては、いろいろな資料を見ても、不思議と十分に良い説明があまり見当たらない。前述の H26 年度の出題文でも「日本人が音を立てるのは、美味しいということを伝えるためにわざとやるのである」といった記述になっている。本プレゼンではこれにチャレンジすることにした。本プレゼンが絶対解であるとはいわないが、H26 年度出題文よりも、こちらの方がより informative であると筆者は考える。読者諸氏のご意見はいかがであろうか。

結論(Conclusion)

最後は「音を立てなくても問題ない」と安心させた上で「郷に入りては郷に従え」という解決策を出す。結辞は“Thank you.”とする。



So, behind some important historical events was the secret service of ninja. I hope this helps you appreciate them. Thank you.

二次口述過去問出題一覧表

平成 27 年度 2015 年 12 月 13 日 (日) 実施

面接時間帯	組	逐次通訳	プレゼンテーション
1 10:00-11:00	1	東京湾	①カプセルホテル ②ゴールデンルート ③一万円札に描かれている人物
	2	財布が戻った	①さっぽろ雪まつり ②日本語の数の数え方 ③恵方巻
	3	福岡と大陸の関係	①招き猫 ②小京都 ③軍師
	4	着物の種類	①お受験 ②火祭り ③仏像の種類と特徴
2 11:00-12:00	1	山「なし」県	①銭湯 ②出羽三山 ③書院造
	2	灘の酒	①大奥 ②流行語大賞 ③西国三十三所
	3	町人文化	①聖徳太子 ②今年の漢字 ③日本の湖
	4	駅弁	①暖簾 ②渋谷スクランブル交差点 ③家元制度
3 13:00-14:00	1	日本の城	①冬至 ②街コン ③けん玉
	2	地獄谷野猿公苑	①鬼 ②日本の城の種類と特徴 ③日本のバレンタインデー
	3	ラジオ体操	①合掌造り ②坂本龍馬 ③金沢の名産品
	4	扇子	①鍋料理 ②ししおどし ③日本の人気スポーツ
4 14:00-15:00	1	日本の家電	①風林火山 ②田んぼアート ③漆器
	2	築地市場	①徳川家康 ②お地蔵 ③立山黒部アルペンルート
	3	神道と自然	①日本の野生動物 ②新撰組 ③お茶漬
	4	おせち料理	①千円札に描かれている人物 ②道の駅 ③地下足袋
5 15:30-16:30	1	青森のリンゴ	①東海道五十三次 ②殺陣 ③高山祭
	2	忍者	①日本の蒸気機関車 ②神楽 ③忍者
	3	和食	①路面電車 ②日本のミュージカル ③卑弥呼
	4	京都の景観規制	①中山道 ②金閣寺の建築様式 ③日本のアイドル
6 16:30-18:00	1	日本人と桜	①日本のハロウィン ②風鈴 ③血液型
	2	力士と儀式	①出雲大社 ②源氏物語 ③懐石料理
	3	座敷	①精進料理 ②打ち水 ③棚田

	4	源氏物語	①デバ地下 ②お彼岸 ③優先席
	5	古墳	①日本のお土産にお勧めのもの ②横綱 ③お通し
	6	歌舞伎	①おでん ②なまはげ ③日本人のくせ

平成 26 年度 2014 年 12 月 7 日 (日) 実施

面接時間帯	逐次通訳	プレゼンテーション
1 10:00-11:00	日本の祭り	①明治維新 ②初詣 ③日本アルプス
2 11:00-12:00	天守閣	①風鈴 ②日本の自然災害 ③古墳
3 13:00-14:00	ICカード	①日本三景 ②宝くじ ③鎖国
4 14:00-15:00	合掌造り	①厄年 ②高野山 ③日本における最大の木造建築
5 15:30-16:30	日本語の文字	①ハッピーマンデー ②黒船 ③北陸新幹線
6 16:30-18:00	飲食物をすする音	①福袋 ②東海道五十三次 ③草津温泉の特徴と行き方

平成 25 年度 2013 年 12 月 8 日 (日) 実施

面接時間帯	逐次通訳	プレゼンテーション
1 10:00-11:00	日本の地勢	①旅館 ②浮世絵 ③東京が他の日本都市と異なる点
2 11:00-12:00	秋葉原	①温泉に入る際の注意点 ②日本の季節の草花 ③日本の宗教
3 13:00-14:00	祇園祭	①日本人の年末年始の過ごし方 ②侍 ③日本のスキー場
4 14:00-15:00	新幹線	①居酒屋 ②日本の伝統芸能 ③東日本大震災後の現地の様子
5 15:30-16:30	温泉	①富士山 ②絵馬 ③19世紀の日本の歴史的出来事
6 16:30-18:00	浮世絵	①江戸 ②東北地方の見所 ③新幹線

サンプル問題 平成 25 年 5 月発行ガイドライン

面接時間帯	逐次通訳	プレゼンテーション
——	浅草	1. 京都の地理・地形・気候について。 2. 日本歴史の観点より、日本の首都について。 3. 一般常識の観点より、日本の人口構造について。

〔著者紹介〕

杉森 元 Hajime Sugimori

福岡県出身。大学で歴史学を専攻し社会科教員免許を取得。大手塗料会社海外営業部勤務の後、通訳案内士試験予備校講師、英検 1 級講師、代々木ゼミナール英語科講師、駿台予備学校英語科講師など英語教育に従事。その後、サイマル・インターナショナル専属同時通訳者となり、サイマル・アカデミー通訳者養成コースの講師も担当した。現在、PEP 英語学校校長。通訳案内士試験準備講座と会議通訳小教室の講師を務める。「楽しい学習による自己実現」がモットー。通訳案内士試験関連著書に『モデル・プレゼンテーション集』『通訳案内士試験二次口述過去問詳解』『逐次通訳七番勝負!』『コンピューター・フレンドリー日本事象英単語帳』などがある。趣味はクラシックギター、将棋、バードウォッチング、旅行など。



著者近影

通訳案内士試験二次口述対策 モデル・プレゼンテーション集 過去問編IV

2016 年 8 月 初版発行

著者 杉森 元

発行者 PEP 英語学校

〒167-0023

東京都杉並区上井草 2-30-15 第二ケヤキビル 102 号

Tel: 03-5938-7777

HP: <http://www.pep-eigo.com>

Mail: info@pep-eigo.com

乱丁・落丁はお取替えます。

ISBN978-4-908485-05-3
C1082 ¥4170E



掲載トピック30題

- | | | |
|---|--|---------------------------------------|
| 1 東海道五十三次
<i>Tokaido Gojusan-tsugi</i> | 2 殺陣
<i>Taté</i> | 3 高山祭
<i>The Takayama Festival</i> |
| 4 日本の蒸気機関車
<i>Japanese steam locomotives</i> | 5 神楽
<i>Kagura</i> | 6 忍者
<i>Ninja</i> |
| 7 路面電車
<i>Streetcars</i> | 8 日本のミュージカル
<i>Japanese musicals</i> | 9 卑弥呼
<i>Himiko</i> |
| 10 中山道
<i>Nakasendo</i> | 11 金閣寺の建築様式
<i>The architecture of Kinkaku-ji</i> | 12 日本のアイドル
<i>Japanese idols</i> |
| 13 日本のハロウィン
<i>Halloween in Japan</i> | 14 風鈴
<i>Furin</i> | 15 血液型
<i>Blood type</i> |
| 16 出雲大社
<i>Izumo-taisha</i> | 17 源氏物語
<i>The Tale of Genji</i> | 18 懐石料理
<i>Kaiseki-ryori</i> |
| 19 精進料理
<i>Shojin-ryori</i> | 20 打ち水
<i>Uchimizu</i> | 21 棚田
<i>Tanada</i> |
| 22 デパ地下
<i>Depachika</i> | 23 お彼岸
<i>Ohigan</i> | 24 優先席
<i>Yusen-seki</i> |
| 25 日本のお土産にお勧めのもの
<i>Japanese souvenirs</i> | 26 横綱
<i>Yokozuna</i> | 27 お通し
<i>Otoshi</i> |
| 28 おでん
<i>Oden</i> | 29 なまはげ
<i>Namahage</i> | 30 日本人のくせ
<i>Japanese habits</i> |

クイズだよ。
全員集合！



問題

上記モデルプレゼン中、その話に、人気アニメ『忍たま乱太郎』が登場するものがあります。どのプレゼンに、どのような脈絡で出てくるか、題目から推理し、当ててください。